

農薬残留分析研究会 (第4回)

——環境試料中の残留農薬——

昭和55年11月12日

於 那覇市

主催 日本農薬学会

過去3回にわたり開催されてきた農薬残留分析法談話会は今年から農薬残留分析研究会と改称された。毎年農薬科学シンポジウムと併せて開催されるのが例となってきたが、今年も通算第4回の研究会が去る11月12日、沖縄県那覇市地方職員共済組合那覇宿泊所「ゆうな荘」ホールにおいて開催された。遠隔地にもかかわらず、参加者は72名(内、本土からの参加59名)を数える盛会であり、国公立関係者と企業関係者とほぼ同数参加した。

今回のテーマは「水、空気等環境試料中の残留農薬」と「特殊農作物中の残留農薬」の二つであり、下記の12題の発表と質疑討論が行なわれた。

1. 農薬による水系汚染と魚介類への影響(特別講演)
(農技研) 金沢 純
2. 河海水中の有機リン剤等の多成分分析
(残農研) 後藤真康
3. 佐賀県クリーク水中における除草剤ベンチオカールの季節的変動
(クマイ化学) 大石利治 他
4. 佐賀県城原川水中の除草剤ベンチオカールの消長
(クマイ化学) 石川完爾 他
5. 農薬の水における残留性について
(兵庫県農試) 大谷良逸 他
6. 水田に施用した農薬の消長とその解析 第2報
(農薬検) 川原哲城 他
7. 農薬15種類の底質土残留分析法
(食品分析) 加藤誠哉
8. 農薬の気中濃度の測定法
(日本特殊農薬) 高瀬 巖 他
9. ヘリコプターによる液剤少量散布後の大気中のMEPおよびBPMCの測定
(残留研) 後藤真康
10. 砂糖中のPCNB, HCBおよび代謝物の残留分析法
(北海道中央農試) 佐藤竜夫
11. しょうがにおけるキャプタンの残留分析法
(長崎県総農試) 直田朝子

12. 硝酸銀処理カラムクロマトグラフィーを用いた残留農薬分析

(食品分析) 加藤誠哉

わが国では、水や大気中の残留農薬に関する調査や研究は作物や土壌中の残留農薬に比べてかなりたちおくれしており、たとえば空気中の農薬の捕集法等、未解決な技術的問題が少なくない。その点で今回、金沢氏の広範で要をえた講演に加え、上記のように、水、底質、空気中の残留農薬の分析法、挙動の解析、調査実施例が発表されたことは貴重で有意義なことといえよう。ただ、実施経験者が少ないせいか、討論がやや不活発であったのが残念である。世話人としては、「とにかく沖縄で開催することだけに気をとられて、内容をより充実させる努力に欠けていたことを深く反省する次第である。やはり本会は参加者がのびのびと討論する場であってほしく、今後のorganizeに工夫が必要であろう。さすが沖縄は11月でも日中冷房が必要な暖かさで、当日はスコールのような豪雨の間にさんさんと日光が輝く南国的な天候であった。昼食には沖縄料理のアシデベチを味あわせていただいた。前日農薬科学シンポジウムが開催された関係で今回は懇親会は開かず、参加者はそれぞれに沖縄の夜を楽しまれた。また、南部戦跡をたずねる機会をもたれた方は、戦争の傷あとの深さをあらためて痛感されたことと思う。

本会での資料集(1部500円・送料とも)をご希望の方は、残留農薬研究所 後藤真康 (tel. 0423-83-7641) に申し込まれたい。また、第2回の資料集「高速液体クロマトグラフィーの応用」も残部があるので、ご希望の方は北海道農業試験場 病理昆虫部 堀口治夫氏にご連絡いただきたいとのことである。なお、次回は兵庫県で開催される予定である。

本会の開催にあたり、精力的に多大のご尽力を賜った沖縄県農業試験場 伊良部忠男氏をはじめとする地元の方々には厚く御礼を申し上げる。

(第4回研究会世話人 後藤真康)